

【検討単語の確定について】2022年度 第1回本委員会 【結果の記入方法】創作手話…◎ 合成手話…○ 組み合わせ…● アレンジ…ア 保存手話…保 ラベル追加…△ 検討不可…×

番号	時事用語	意味	備考	各班	結果	表現の仕方	本委員会結果	検討経緯
1	さざなみ	「水面に細かに立つ波」のことです。「さざれ波」や「さざなみ」ともいい、漢字では「細波」「小波」「漣」などと表します。 また、比喩表現として「小さな争いや心の動揺」のことという。 (コトバの意味辞典より)		北海道	保	手の甲を上に向けた右手の四指を細かく動かしながら移動	保 保存手話	9 班の案を見ると、ほとんどが同じ表現だが、片手、両手、両手で左右に動かす案に分かれる。両手で小刻みに同じ方向に動かすのが見やすい。 ⇒ 胸前で指先を前に向けた両手5指を小刻みに上下させながら左から右へ動かす ※ 関東・北信越・九州班の案を採用
				東北	◎	右でさざ波の様子		
				関東	保	5指を開いた両手を、指を小刻みに動かしながら左から右へ水平に動かす(波の様子)。		
				北信越		両手でさざ波の様子を表現		
				東海	○	両手で手を水平に、指を小刻みに揺らす		
				近畿	◎	片手で波がさざみに揺れる様子		
				中国	●	小さい + 波		
				四国	保	さざ波が立つ様子		
				九州		甲を上に向けた両手を、右から左へ小刻みにゆつくり動かす		
2	実効性担保	「実効性」…実際に効き目があったり、役に立つこと。 「担保」…確保。と同義です。「実効性担保」とは、実際に役に立つことを確保する、という意味。 で、「アクセスの実効性担保」といえばアクセスを確保することです。 (高田所長より)	参考:<担保(新Ⅲ-25)>があるが、別表現も検討してください。	北海道	◎●	小指に向けた左拳に右掌で本当 + 担保	● 組み合わせ	「実効性担保」とは、実際に役に立つことを確保すること。 9 班の案を見ると、<担保>を使う班があるが、どうするか検討。意味からすると<獲得(取る・取得)>の方が意味に合うのではないかと。 ⇒<本当>+<効果・効力>+<獲得(取る・取得)・奪う> ※ 関東・北信越・東海・近畿・中国・九州班の案を参考
				東北	●	「本当」+「確保」		
				関東	◎	「効果」+ 握った左手の親指側に蓋をするように右掌をつける		
				北信越		「効果」+「身につける」+「証拠」		
				東海	●	効果 + 性 + 担保		
				近畿	●	効果 + 抑える		
				中国	●	効果 + 取る		
				四国	ア	/左掌に右手のヤを当てる/ + /固い/		
				九州		効果(強めに) + 取る		
3	機動的対応(対応)	「機動的」…事態に合わせて素早く対応できるさま。 類義語・同義語に「柔軟」「臨機応変」「ダイナミック」など。 岸田政権 「新型コロナウイルス感染症」再拡大した場合「国民の理解を丁寧」に求めつつ、行動制限の強化を含め機動的に対応する」と表明。(2021年12月) ロシアのウクライナ侵攻を受け、ウクライナ情勢や物価高、影響緩和へ「機動的対応」と岸田首相(2022年3月23日)		北海道	△	「機転」に追加	● 組み合わせ	9 班の案を見ると、「すぐ」+「対応」、「ぴったり」+「処理」などが見られるが、政権用語なので「事態に合わせてすぐに動く」という意味に合わせた表現必要。 ⇒<状態・風潮・局面・事態・加減>+<合う・相当・B・ふさわしい・～的・適当・ぴったり・似合う・折り合いがつく・板につく・もってこい・的確>+<すぐ・緊急・即時>+<活動・活躍・運動・B> ※ 東北・北信越・東海班の案を参考
				東北	●	「事態」+「対応」		
				関東	●	5指を曲げた左手を上に向かって動かす + 「素早く」+ 「指示」複数回		
				北信越		「様子」+「合う」		
				東海	●	合う + すぐ + 対応		
				近畿	●	すぐ + 対応		
				中国	●	ビックリ + 処理		
				四国	●	/臨機応変 1-76 / + /早い/		
				九州		すぐ + 対応		
4	酒類提供要件	(愛知県HP:「酒類提供を行うために飲食店が満たすべき「一定の要件」より」) 新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針を踏まえ、まん延防止等重点措置の対象区域の飲食店において酒類の提供を行うための「一定の要件」を定めた。酒類提供を行う日までに、別途「対策項目チェックリスト」に基づき、以下の5項目の対策を全て実施してください。 1. アクリル板等(パーティション)の設置又は座席の間隔の確保 2. 手指消毒の徹底 3. 食事中以外のマスク着用の推奨 4. 換気の徹底 5. 入店制限(同一グループの入店は、原則4人以内)	参考: <提供(わ6-179)> <要件(2021年9月確定)> <必要>+<条件>)	北海道	●	酒 + 提供 + 左手5指を右手人差し指で指差し	● 組み合わせ	9 班の案を見ると、ほとんどが同じ手話の組み合わせ。酒類とは、アルコール全般のことを指している。 ⇒<アルコール>+<提供>+<条件> (<必要>+<条件>) ※ 東海・中国・四国班の案を参考
				東北	●	「酒」+「提供」+「条件」		
				関東	●	「酒」+ 片手で「提供」+「条件」		
				北信越		「酒」+「提供」+「条件」		
				東海	●	酒 + 提供 + 要件		
				近畿	●	酒 + 提供 + 条件		
				中国	●	酒 + 出す + 条件		
				四国	●	/アルコール/ + /種類/ + /提供/ + /必要/ + /条件/		
				九州		酒 + 関係 + 提供 + 約束		
5	人流	人が「いつ」「どこから」「どの場所」へ移動しているのかという人の流れ(人流)や特定の場所、時間に滞在している人の動き(流動人口)のことをさす。 近年では、携帯電話やスマートフォンのGPS、基地局、Wi-Fi、Beaconなどの環境が整ってきたことにより、高頻度に位置情報データを観測できるようになってきた。 様々な分野で活用されているが、特に2020年の新型コロナウイルスの流行以降は、人々の移動人口の指標や人出の増減の目安として様々なメディアやニュースに取り上げられている。(X-Locations用語集より)		北海道	△	「賑やか」に追加	ア● アレンジとの組み合わせ	9 班の案を見ると、<にぎやか>を使っている班があるが、「物流」にも使える表現がほしい。 ⇒<～人・～者> (<知識人>の②)+指先を左右に向けた両手指を小刻みに動かしながら交差させる ※ 関東班の案を参考
				東北	●	「人々」+「流行」		
				関東	●	片手で「人々」+ 5 指を開いた両手を交互に胸の前に動かす		
				北信越		(両手で)「人々」の手話を右から左へ流す		
				東海	○	右手で人の後、そのまま右手を水平に円を描く		
				近畿	ア	両手で大勢の人が行き交う様子		
				中国	●	人 + 動く		
				四国	○	/人々/の形を上下に置き /交流/の動き(回す)		
				九州		両手の平を体に向けて交差する		
6	二正面作戦	戦争において、二つの方面を同時に正面として作戦を展開すること。 比喩的に、ある目的のために二つの方面から、または二つの手段を用いて事を進めるやり方。 『新型コロナウイルス感染拡大』の場合は、 感染防止とワクチン接種 。	写真:2021年5月28日。「緊急事態宣言」延長についての記者会見。	北海道	●	平行 + 作る + 戦争	保 保存手話	9 班の案を見ると、2～3動作の組み合わせが多い。また、「戦争」「作戦」の手話を使う案が見られるが、聞いただけではない。もっとシンプルな表現がないか、検討。 2021年度「衆院選用語」で確定した<ワーケーション>の3動作目が、意味に合うのでは？ ⇒ 人差し指を立て掌を上に向けた両手を少し離して置き内側に半回転して同時に前に出す (<ワーケーション>の3動作目) ※ 近畿・中国班の案を参考
				東北	◎	同時性で「平行」		
				関東	●	両手の人差し指を両脇から指先をつけるように前に出す + 両手で「戦争」		
				北信越		両手を対面させる + 「戦」		
				東海	○	両手をやや重ね合わせて前方に突き出し、作戦		
				近畿	ア	両手をかざして(二面) + 進める		
				中国	●	両方 + 同時 + 進む		
				四国	○	片手ずつ正面に出す + /作戦/		
				九州		人差し指(両手)を両脇から斜め前に出して合わせる		
				北海道	◎	左手人差し指をI + 日本手話R		

7	IR(統合型リゾート)	IRとはIntegrated Resort(統合型リゾート)の略で、カジノだけでなくホテルや劇場、ショッピングモールなどのエンターテインメント施設から国際会議場、展示場のビジネス施設まで多くの要素がひとところに集結する複合施設のこと。 2018年7月、日本に「カジノを含む統合型リゾート(IR)」を作る法案が正式に成立した。 (日本カジノスクールのHPより)		東北 ● アメリカの指文字で「I」＋「R」 関東 ● 右手でスロットのバーを引く＋「場所」を左から右へ半円を描くように数回表す 北信越 左手小指でI、左手人差し指と右手人差し指でRを表現(I Tの要領で) 東海 ◎ 左手の人差し指と小指を立て、右手で左手の人差し指でRを描く 近畿 ア 指文字<I>にRをそばで描く 中国 ● I R指文字＋遊び 四国 ア 1 /IT/のアレンジで /I/ と/R/を片手で 2 あるいは /IT/の形で人差し指にRを空書で書き加える 九州 1 (非利き手)＋7 (利き手)にし、Rを書く	ア アレンジ	9班の案を見ると、ほとんどが同じ表現。<IT>をアレンジした表現とすることに。 ⇒左手<IT>の人差し指に、右手人差し指で「R」を描く ※北信越・東海・四国班②の案を採用
8	観天望気	生物の行動や自然現象(雲や霧の様子)を観察して天気を予想することです。 例えば、観天望気には、「夕日が出ると次の日は晴れる」、「おぼろ雲(高層雲)は雨の前ぶれ」、「山に笠雲がかかっていると雨が降る」、「カエルが鳴くと雨が降る」、「猫が顔を洗うと雨が降る」、「ツバメが低く飛ぶと雨が降る」(お天気. Comより)		北海道 ● (視線を上)に 夢＋観察を左から右へ動かす 東北 ◎ 「見みながら」＋「見込み」 関東 ● 右手人差し指で前を指す＋「天気」＋「予想」 北信越 情報(視覚的情報)＋天気＋予想 東海 ● 伝統＋天気＋予想 近畿 ◎ ながめる＋天気＋気持ち 中国 ● GPS＋天気＋想像 四国 ◎ /天気/ ＋ /口から歴史の手話で、伝承/ 九州 ① 天気＋顔を左から右へ向け＋予想 ② 天気＋状態＋予想	<想像B> 保存手話 ● <観天望気> ● 組み合わせ	9班の案を見ると、「予想」の表現を使う班が多いが、標準手話のラベルが無い。<想像B>とすることに。 また、<天気>＋<想像>の前後に<伝統>や眺めるしぐさなどがついているが、シンプルに、<天気>＋<想像>だけでいい。 <想像B> ⇒視線を空に向け、指先を上に向けた右手をこめかみあたりから下に小さく弧を描きながら斜め上へ上げていく(『新 日本語－手話辞典』の〈夢①〉の動作) <観天望気> ⇒<天気>＋<想像B> ※関東・北信越・東海・近畿・中国・九州班の案を参考
9	ヘリコバクターピロリ菌	ヘリコバクター・ピロリ(Helicobacter pylori)は通称ピロリ菌と呼ばれているもので、強い胃酸の分泌される胃粘膜でも生息できる特殊な細菌です。胃潰瘍や胃炎の原因となり、胃がんの危険性を高めることも知られています。 現在の推定では日本人で10歳代では10%を切っていますが、60歳代以上では約60～70%とかなりの人が感染しているとされています。 ピロリ菌検査…内視鏡検査(胃カメラ)時に行われるものと、血液、尿、便に対して行われるもの、さらに検査薬を飲んで呼吸(吐いた息)を採取して行うものがあります。 (日本臨床検査専門医会HPより)		北海道 ◎ 胃の位置に国際手話のP 東北 ● 指文字「イ」＋「虫」 関東 ● 「胃」＋指先上で立てた左掌に右手人差し指を付け、屈伸させながら指先の方に動かす 北信越 胃潰瘍の手話をベースに、右手はピロリ菌の形を表現 東海 ● 指文字「ピロリ」＋菌 近畿 ● 指文字<ピ>＋細菌 中国 ● I 指文字＋虫 四国 ● /ピロリ(指文字)/ ＋ /菌/ 九州 胃＋ピ(指文字)	<菌> 合成 <ヘリコバクターピロリ菌> ● 組み合わせ	まずは、「菌」と「細菌」の表現を分けるかどうか検討。 9班の案を見ると、<虫>を使う班がある。 「ヘリコバクターピロリ菌」は、一般的に「ピロリ菌」と言っているので、指文字で大丈夫だろう。 <菌> ⇒左手<細菌>と右手<虫>の合成 <ヘリコバクターピロリ菌> ⇒<ピ>＋<ロ>＋<リ>＋<菌> ※東海・四国案を参考
10	逆流	普通とは逆の方向に流れること。また、その流れ。(例:「河水が逆流する」など)(goo国語辞書より) 「逆流性食道炎」…胃の内容物(主に胃酸)が食道に逆流することにより、食道に炎症を起こす病気です。 胸が焼ける感じ、酸っぱいものが上がってくる、食後に胸やみぞおちのあたりが痛い、というのが主な症状です。 (国立長寿医療研究センターHPより)		北海道 ア 手の甲を上にした両手を波の動きで交差させる 東北 ◎ ①「川(逆流)」 ②胃から逆流の様子 関東 ◎ ①上向きに指先を付けた右手を胃の辺りから開きながら口の先までに動かす。 ②「さざなみ」を往復させる 北信越 ④ 川が逆流する場合…河+逆の流れ ⑤ 食べ物の逆流…胃から食道を上げる様子 東海 ○ ① 川の流れの後、逆に流す ② 飲み込んだ後、上に戻す 近畿 ◎ 両手で渦巻きを前へ巻き、後ろへ逆に巻く 中国 ● ① 流れ＋逆の流れ ② 胃飲み込む＋戻す 四国 ア ① /川の流れ/ を逆に ② 胸から喉に上がっていく様子 九州 ① 攻め＋攻撃 ② 胃(非利き手)＋しばめてあげる(利き手)	<逆流A> 保存手話 <逆流B> 保存手話	「逆流」とは、普通とは逆の方向に流れること。 9班の案を見ると、「川の逆流」「胃の内容物が食堂に逆流」それぞれに合わせた表現を検討している。 「川の逆流」の場合、そのまま戻す表現が多いが、指先を斜め左に向けて上げて行く方がイメージに合うのではないかと？ <逆流A> ⇒掌下向きの右手を5指を小さくばらばらに動かしながら斜め左上に上げていく ※北海道・北信越班の案を参考 「逆流性食道炎」などのイメージの表現も要る。 <逆流B> ⇒5指をすばめた右手を胃の位置から少し戻す ※北信越班の案を採用
11	湿地	「湿原(2010－59)」はある 常時あるいは季節的に水を たつぷりと含む土地、あるいは水で覆われる土地のことをいいます。 内陸湿地には沼沢地、湖沼、湿原、川、氾濫原などがある。 (湿地:なぜ大切になければならないのか?)より)	「湿原(2010－59)」はある	北海道 ア 湿原の右掌で円を描くから水平に動かす 東北 ◎ ねばり様子 関東 ● 「湿る」＋右手掌下向きで水平に円を描く 北信越 「(ベタベタ)土」＋「原」 東海 ● 右手で「湿る」＋場所 近畿 ア 片手でべたべた＋場所 中国 ● 湿気＋場所 四国 ● 片手で湿気のあるようす＋ /土地/ 九州 場所(非利き手でそのまま)＋濡れる(非利き手の上で)	● 組み合わせ	9班の案を見ると、2動作目が「腹」「場所」「土地」などが見られるが、<湿原(2010－59)>があるので、<場所>でいいのではないかと。 ⇒<湿原>の1動作目＋<場所>(片手の表現) ※東海・近畿班の案を採用
12	熟果	熟している果物。	参考:<熟す(2008－91)>	北海道 ● 果物＋熟す 東北 ● 「熟す」＋「果物」 関東 ● 「果物」＋左手掌の上に握った右手を乗せ5指を開く 北信越 「漬」＋「果物」 東海 ● 熟す＋果物 近畿 △ <熟す>のラベル追加 中国 ● 果物＋熟の手話 四国 ● /果物/ ＋ /熟す(Ⅱ-542) 九州 果物＋両手をしばめながら下げる	● 組み合わせ	9班の案を見ると、<熟す>＋<果物>または<果物>＋<熟す>に分かれる。どちらを採用するか検討。 ⇒<果物>＋<熟す・熟成> ※北信越・関東・中国・四国班の案を採用
		そのブランド(商品・サービスなど)の特徴を的確に表現した上で、パッと人の目に		北海道 ◎ 左掌で右手拳をつかむ＋見る 東北 ● 左手で指文字「キ」＋「表現」 関東 ◎ 両手の2指を曲げ指先を向かい合わせ、手前に引きながら2指の幅を広げる 北信越 右手の「C」を左掌でキャッチする	<興味B> 保存手話	「キャッチコピー」と「キャッチフレーズ」を合わせて検討。 9班の案を見ると、1動作目が「キャッチする」「魅力」「気にかかる」など複数案があり、どれが意味に合うか検討。 2動作目は「句」または「言葉」どちらが意味に合うかに絞られた。

13	キャッチコピー	目に留まり、人の心に響き、人の心を動かし、そして、購買行動に繋げることができるのが理想の短い宣伝文句。		東海 ● 魅力 + 言葉 近畿 ◎ 両手で小さくした鍵括弧を上下に広げるようにする 中国 ● 魅力 + 言葉 四国 ◎ 目の位置で/気にかかる/+/句/ (2015-74) 九州 魅力 + 言葉	<キャッチコピー> ● 組み合わせ	<興味B> ⇒<引っ掛かる>を右斜め前へ動かす <キャッチコピー> ⇒目の位置で<引っ掛かる・興味B>+<句> ※四国班の案を採用
14	尽力	「力を尽くす」こと、つまり、持っている力をすべて注ぎ込むことを意味する表現。何かの目標に向けて、目標を成し遂げるために、力の限り、最大限、全身全霊、精一杯、粉骨碎身、一生懸命に取り組むこと。(例:「町の復興に尽力する」など) (weblio 辞書より)		北海道 ● 一生懸命 + 努力 東北 ● 「努力」に同様 関東 ● 「一生懸命」+「提供」 北信越 「一生懸命」+「努力」 東海 ● 一生懸命 + 助ける 近畿 △ <努力>のラベル追加 中国 △ 頑張る 四国 ア /一生懸命/ を2回繰り返す 九州 一生懸命	△ ラベルの追加	9班の案を見ると、「提供」や「助ける」など2動作の案が見られるが、1動作の手話を使いたい。 ⇒<頑張るC>と同じ ※四国・九州班の案を採用
15	敬意	尊敬する気持ち。 (例:「敬意を表する」「敬意を払う」「敬意をこめる」など)		北海道 ● 尊敬 + 心 東北 ● 「尊重」に同様 関東 ● 「気持ち」+「尊敬」 北信越 「尊敬」+「気持ち」 (左胸に手をあてる) 東海 ● 尊敬 + 気持ち 近畿 ア A案) <尊敬する>ラベル追加 B案) 国際手話の表現を借りる 中国 ● 気持ち + 尊敬 四国 ● /尊敬/ + /気持ち/ 九州 尊敬	● 組み合わせ	9班の案を見ると、 <尊敬>のあとにく気持ち>を表す案が見られる。 <尊敬>だけでいいか? 気持ちを表す表現をつけるか検討。 ⇒<尊敬・リスペクト>+右手を左胸にあてる ※北信越班の案を採用
16	多種多様	種類が多くさまざまであること。また、その様なさま。「多種」…たくさん種類。「多様」…いろいろと種類が違ったものがあること。また、そのさま。類義語に、「十人十色」「千差万別」などがある。(四字熟語の百科事典より)		北海道 ○ 種類と色々の合成 東北 ◎ 右手で「手」+左手で「たくさん」 関東 ● 左手掌の上に右手を立て、掌に沿って左から右へ動かす 北信越 なんでも 東海 ● いろいろ + 種類 近畿 ア 手のひらの上に、<いろいろ> 中国 ○ 手 + 色々 四国 ア /種類/の手話の右手を/いろいろ/の片手で 九州 手の平を上に向け (非利き手) その上で、色々 (利き手)	△ ラベルの追加	9班の案を見ると、指先を前に向けた左手掌の上で<いろいろ>の案が合うのではないかな。 ⇒<あらゆる(わ8-155・学1-177)> (種類と色々の合成) ※近畿・中国・四国班の案を採用
17	学び合い	自分のわからないことをいつでも仲間に関くことができます。聞かれた児童は、見捨てることなく(道徳心をもって)しっかりと説明します。説明を聞く人はわからなかった考え方や知識を理解することができますし、説明する人は自分が確かにわっているかを確認しながら論理的な思考力を身に付けることができます。そして、何よりも学び合いを通して、生まれてくるのが、仲間への信頼と所属感、自己肯定感です。 これまでの一斉授業だけでは、ありません。 (岐阜市立則武小学校HPより)		北海道 ● 学ぶ + お互い 東北 ● 「習う」+「勉強」 (水平に回す) 関東 ● 「勉強」+「協力」 北信越 (手をクロスさせて)お互い + 勉強 東海 ● 学ぶ + お互い 近畿 ● <学ぶ> + <お互い> 中国 ● 学ぶ + お互い 四国 ● /学ぶ/ + /お互い/ 九州 学ぶ + お互い	保存手話	「学び合い」とは1対1ですのではなく、集団の中で行うこと。 9班の案を見ると、<協力><お互い>などの案が見られるが、集団(複数人)・みんなで、を意味する表現はないか?検討。 ⇒<学ぶ・履修>に左掌を添えて繰り返ししながら水平に回す ※東北班の案を参考
18	希薄	① 液体や気体などの濃度・密度がうすいこと。また、そのさま。(例:「酸素の希薄な山頂」など) ② ある要素の乏しいこと。物事に向かう気持ち・意欲などの弱いこと。また、そのさま。(例:「問題意識が希薄だ」など) (goo国語辞書より) 全国的なコロナ感染拡大によるイベント等の中止や外出自粛などによる影響で、人とのつながりや絆が希薄になっていることが懸念され、テレビ等で頻繁に使われている。		北海道 ア 両手で「薄い」を中央から外へ動かす 東北 ◎ 「うすい」+「減る」様子 関東 ◎ ① 掌を前に向け左右に揺らしながら下げる ② 両手それぞれ4指の指先を触れない程度に近づけて両手を揃え、左右に引き離す 北信越 「薄い」+「足りない」 東海 △ 薄いに同じ 近畿 △ <薄い>のラベル追加 中国 △ ① 少ない ② 足りない 四国 保 /少ない/の形で、口をすぼめる 九州 薄い (目を細める)	保 保存手話	9班の案を見ると、薄い・足りない・少ないなどが見られる。「A」「B」に分ける意見も出たが、この場合の「希薄」には、会えないことで人とのつながりや絆が減る、というイメージで使われているので、今回は東北班の案を採用することに。 ⇒伸ばした右手親指と人差し指を近づけながら左へ移動する ※東北班の案を採用
19	業務	社会生活上、反復継続して行われる事務又は事業。利益を伴うかどうかを問わない。業務が正当に行われることの重要性から、法律は、これに対する妨害を処罰する一方、一定の業務を行う者に特別の義務を課し、又は通常人に比して責任を加重している(刑二二三・二三四・二一―等)。 (図解六法より)	参考:<職務(2013-41)>の①②	北海道 ● 仕事 + 責任 東北 ● 「仕事」+指文字「ム」 関東 ● 「仕事」+「責任」 北信越 「仕事」 東海 △ 職務に同じ 近畿 △ <職務>のラベル追加 中国 △ 仕事 四国 △ /仕事/ 九州 仕事	△ ラベルの追加	9班の案を見ると、ほとんどが同じ表現。<責任>やくム>をつけている班もあるが、<仕事・職業>だけでいいだろう。 ⇒<仕事・職業(働く・作業)・勤務・職・事業・稼働>と同じ ※北信越・中国・四国・九州の案を採用
		① 心身が疲れて弱ること。		北海道 ● ①体 + 疲れる ②下がる 東北 ◎ 「落ちるまたは減る」様子 関東 ◎ 軽く丸めた右手を右から左に山を描くように動かす。		

20	疲弊	(例:「神経が疲弊する」など) ② 経済状態などが悪化して活力をなくしてしまうこと。 (例:「財政が疲弊する」など) (goo国語辞書より)		北信越 東海 △ 近畿 ◎ 中国 △ 四国 保 九州	「疲れ」＋「下がる」 疲れるに同じ 疲れてパターンと倒れる様子 ① 疲れる ② 落ちる 胸に置いた手を 下に終えろしながらすぼめる ① 疲れる ② 落ち込む(手の平を下に向け、上から斜め下に下す)	△ ラベルの追加	9 班の案を見ると、<疲れる>と<落ち込む>表現が見られる。「A」「B」と分けるより<疲れる>だけでいいだろう。 ⇒<疲労・倦怠(疲れる)>と同じ ※東海・中国①・四国・九州班①の案を採用
21	収益	所定の会計期間で、金取引以外の企業の営業活動によって生じた資産増加のこと。 その主たるものは「売上高」。 収益の内訳は、大きく「営業収益」「営業外収益」「特別利益」の3つに分類される。	「資産運用収益」では「得(利益)」	北海道 ● 東北 ● 関東 保 北信越 東海 ア 近畿 ● 中国 ● 四国 ● 九州	お金が入る ＋ 両手で高さを表す 「儲ける」様子 「収穫・儲け」 「儲け」 益の手話をやや上に引き上げる <収入> ＋ <利益> お金 ＋ 儲け 片手で/お金/が入ってくる もう一方で/得る/ お金 ＋ 儲ける	● 組み合わせ	「収益」とは、会社などに入ってくるお金のこと。 9 班の案を見ると、<儲け>や<利益>の表現があるが、収益と利益は、手話表現を分ける必要がある。 ⇒<お金>＋<収穫> ※近畿・中国・九州班の案を参考
22	創意工夫	今までだれも思いつかなかったことを考え出し、それを行うためのよい方策をあれこれ考えること。 「創意」は新しい思いつき、今まで考え出されなかった考え。「工夫」は物事を実行するために、よい方策をあれこれひねり出すこと。(goo国語辞書より) 「創意工夫でコロナ渦を乗り越えよう」と、飲食店・中小企業・授業・会議・等々、テレビなどで連日紹介された。		北海道 ● 東北 ○ 関東 ● 北信越 東海 ● 近畿 ア 中国 ● 四国 ア 九州	研究 ＋ 賢い 「そうだ」様子＋「工夫」 「思いつく」(顔は下から上へ)＋「研究」 「考える」＋「工夫」 ひらめき ＋ 工夫 <ひらめき> ＋ <工夫> 発明 ＋ 工夫 /思う/ ＋ /工夫/の形を 回す 考える ＋ 工夫	● 組み合わせ	9 班の案を見ると、<考える>＋<工夫>や<思う>＋<工夫>などが見られるが、意味からすると、ちょっと足りない。 ⇒<発明>と 2 回(こめかみにつけた人差し指を上 に 2 回 はね上げる)＋右手<充てる>を位置を変えて 2 回 ※東海・近畿・中国班の案を参考
23	エスペラント	中立で使いやすい国際共通語。 エスペラントは民族の言語や文化をその歴史的遺産として尊重し、大切にすると同時に、それぞれの言語や文化の違いを越えて人々がコミュニケーションできるようにするために橋渡しの役目を果たすことを目的としている。 1887年、当時ロシア領だった現在のポーランドに住むユダヤ人眼科医ザメンホフ(L. Zamenhof)が提唱したもの。(日本エスペラント協会ウェブサイトより)		北海道 ◎ 東北 ◎ 関東 ● 北信越 東海 ● 近畿 ア 中国 ● 四国 ● 九州	丸めた左手に右手で水平に囲むように「同じ」を繰り返す 右手で指文字「エ」＋左手で「統一」 両手の人差し指の先を向い合せて水平に半円を描く＋人差し指を口から前に出して「言語」 左手で「e」＋右手で「歴史」 国際手話の国際 ＋ 言語 <国際手話>の<手話>を<話す>に置き換える 人 ＋ 支え ＋ 二指文字 /世界/ ＋ /共通/ そのあとに/語/ を加えてもよい 繋ぐ(仲介)	<国際B> ラベルの追加 <エスペラント> ● 組み合わせ	9 班の案を見ると、<エ>または<e>を使う班が見られるが、指文字ではなく、今ある手話を使いたい。「エスペラント」は国際共通語のことなので、まずは、<世界ろう連盟>に「国際」のラベルを追加することに。 <国際B> ⇒<世界ろう連盟>と同じ <エスペラント> ⇒<世界ろう連盟・国際B>＋<語> ※東海班の案を採用
24	おっつけ	① やがて。そのうちに。まもなく。(例:「おっつけ来るだろう」など) ② すぐに。ただちに。(例:「おっつけ参らせられい。今まで遅うござる」)(虎明狂・伊文字)など (goo国語辞書より) または、相撲のひとつの技で、相手が自分の脇に差し入れてきた腕を外側またはは下から押さえつけ、絞り上げるようにして、相手の攻撃力を弱める技。		北海道 ア 東北 ◎ 関東 ◎ 北信越 東海 △ 近畿 ア 中国 ● 四国 △ 九州	「従う」揺らしながら前へ進めるから真っ直ぐ前に進める 「まもなく」様子 ① 掌を前にて両手を交互に前に出す(相撲のおっつけ) ② 状況により色々な手話が選択されるため、決定しなかった 「後」 眼の前で右手をやや揺らす(後で) 手のひらを前へ弱く倒す ① 今後 ② すぐ /もうあとで/ まもなく	<おっつけA> ラベルの追加 <おっつけB> ラベルの追加	9 班の案を見ると、似たような表現。それぞれの意味に合う手話表現することに。 <おっつけA> ⇒<あとA>と同じ ※東海・近畿・中国・四国班の案を採用 <おっつけB> ⇒<すぐ・緊急C>と同じ ※中国班の案を採用
25	唖然	思いがけない出来事に驚きあきれて声も出ないさま。あっけにとられるさま。(例:「意外の出来事に唖然とする」)(虎明狂・伊文字)など (goo国語辞書より)		北海道 ◎ 東北 ◎ 関東 保 北信越 東海 保 近畿 保 中国 ○ 四国 保△ 九州	(驚いた表情で)口を押える 「唖然」様子 握った両手を指側で上下に重ね、上下に離す あんぐりと口があく様子 顎が外れる 両手のこぶしを上下にひろげる ア指文字 ＋ 開く 両手こぶしで 口が開いたままになる状態を表現 ① 親指と人差し指を顎につけて、おろす ② 口の手話、利き手を離す(縦に重ねた拳を下の拳だけ下げる)	保 保存手話	9 班の案を見ると、あんぐりと口が開く表現と顎が外れる表現のどちらが多い。顎が外れる表現の場合、「だまされる」でも使うことがあるのでまぎらわしい。以前から使われている両手拳を上下に離す動作が合うのではないかと。 ⇒両手拳の掌側を上下につけ合わせ、上を下へ素早く動かす(<一杯飲む>の1動作目) ※東北・関東・北信越・近畿・四国班の案を採用
26	充当	① 人員や金品を、ある目的や用途にあてること。 (例:「賞与は大口の出費に充当する」など) ② 債務者が同一の債権者に対して数個の債務を負担している場合に、債務者の弁済がその全部の		北海道 △ 東北 ● 関東 ● 北信越 東海 △ 近畿 ア	補うに追加 左手で「握りこぶし」＋右手で「うめる」 「お金」を前に動かし、掌上向きにした左手の掌をその輪の上に返ししながら付ける 右から取って左側に充当する様子 当てる 左手のこぶしの上に、片手の手のひらを充てる	△ ラベルの追加	9 班の案を見ると、ほとんどが似た表現。 ⇒<充てる>と同じ ※北海道・東海・近畿・中国班の案を採用

		債務を消滅させるに十分でないとき、どの債務の弁済にあてるかを定めること。		<table><tr><td>中国</td><td>△</td><td>充てる</td></tr><tr><td>四国</td><td>保</td><td>掌を返して補う様子を表現</td></tr><tr><td>九州</td><td></td><td>お金を非利き手の甲にあて、手を広げる(左甲の上に、右(お金)の表現を左甲に乗せながら重ねる。)</td></tr></table>	中国	△	充てる	四国	保	掌を返して補う様子を表現	九州		お金を非利き手の甲にあて、手を広げる(左甲の上に、右(お金)の表現を左甲に乗せながら重ねる。)																							
中国	△	充てる																																		
四国	保	掌を返して補う様子を表現																																		
九州		お金を非利き手の甲にあて、手を広げる(左甲の上に、右(お金)の表現を左甲に乗せながら重ねる。)																																		
27	森羅万象	宇宙に存在するすべての事物や現象。天地の間にある一切の事象。「森羅」は、無数に連なって並んでいること。「万象」は、「まんぞう」「ばんぞう」とも読み、あらゆる形や物事のこと。(goo国語辞書より)		<table><tr><td>北海道</td><td>◎</td><td>両手を少し広げて丸を作る</td></tr><tr><td>東北</td><td>不可</td><td>表現不可、ごめんなさい。</td></tr><tr><td>関東</td><td>●</td><td>「宇宙」＋「すべて」</td></tr><tr><td>北信越</td><td></td><td>左手は「地球」＋「全部」</td></tr><tr><td>東海</td><td>●</td><td>手のひらを広く円を描き、なんでも</td></tr><tr><td>近畿</td><td>◎</td><td>宇宙を取り巻く空間をいっぱい表現</td></tr><tr><td>中国</td><td>×</td><td></td></tr><tr><td>四国</td><td>●</td><td>/宇宙/ ＋ その上で/いろいろ/</td></tr><tr><td>九州</td><td></td><td>すべて</td></tr></table>	北海道	◎	両手を少し広げて丸を作る	東北	不可	表現不可、ごめんなさい。	関東	●	「宇宙」＋「すべて」	北信越		左手は「地球」＋「全部」	東海	●	手のひらを広く円を描き、なんでも	近畿	◎	宇宙を取り巻く空間をいっぱい表現	中国	×		四国	●	/宇宙/ ＋ その上で/いろいろ/	九州		すべて	● 組み合わせ	聞き慣れない用語のため、9班の案を見ると、苦心のあとが見られる。 <地球>＋<全部>というより、<宇宙>＋<全部>のほうが意味に合うのではないか。 ⇒<宇宙>＋<全部> ※関東班の案を採用			
北海道	◎	両手を少し広げて丸を作る																																		
東北	不可	表現不可、ごめんなさい。																																		
関東	●	「宇宙」＋「すべて」																																		
北信越		左手は「地球」＋「全部」																																		
東海	●	手のひらを広く円を描き、なんでも																																		
近畿	◎	宇宙を取り巻く空間をいっぱい表現																																		
中国	×																																			
四国	●	/宇宙/ ＋ その上で/いろいろ/																																		
九州		すべて																																		
28	一押し	一番のものとして強く推薦すること。 (例:「当店一押しの商品」など)(広辞苑無料検索より) 「イチオシ」「イチ押し」と書くこともある。		<table><tr><td>北海道</td><td>○</td><td>左手を一右手で押す</td></tr><tr><td>東北</td><td>●</td><td>「おすすめ」様子</td></tr><tr><td>関東</td><td>◎</td><td>「勧める」＋「一」を上にも動かす</td></tr><tr><td>北信越</td><td></td><td>左手「1」を右手で押し出す</td></tr><tr><td>東海</td><td>●</td><td>一番＋勧める</td></tr><tr><td>近畿</td><td>ア</td><td><勧める>を強い表現で押し出す</td></tr><tr><td>中国</td><td>●</td><td>一番＋押す</td></tr><tr><td>四国</td><td>●</td><td>/一番/ ＋ /お勧め/</td></tr><tr><td>九州</td><td></td><td>立てた人差し指(非利き手)＋下から2回たたく(利き手)</td></tr></table>	北海道	○	左手を一右手で押す	東北	●	「おすすめ」様子	関東	◎	「勧める」＋「一」を上にも動かす	北信越		左手「1」を右手で押し出す	東海	●	一番＋勧める	近畿	ア	<勧める>を強い表現で押し出す	中国	●	一番＋押す	四国	●	/一番/ ＋ /お勧め/	九州		立てた人差し指(非利き手)＋下から2回たたく(利き手)	● 組み合わせ	9班の案を見ると、最初の動作が数詞<1>と漢数字の<一>、<一>などがある。 数詞<1>の場合「人を押す」ようにも見えるので<一>がよいなど意見が分かれるも、最終的に数詞<1>を押す方が分かりやすいのではないかとということで意見がまとまった。 ⇒数詞<1>＋立てた人差し指の背に右手掌をあて前に出す(<後援B・後押し>の2動作目) ※北信越班の案を採用			
北海道	○	左手を一右手で押す																																		
東北	●	「おすすめ」様子																																		
関東	◎	「勧める」＋「一」を上にも動かす																																		
北信越		左手「1」を右手で押し出す																																		
東海	●	一番＋勧める																																		
近畿	ア	<勧める>を強い表現で押し出す																																		
中国	●	一番＋押す																																		
四国	●	/一番/ ＋ /お勧め/																																		
九州		立てた人差し指(非利き手)＋下から2回たたく(利き手)																																		
29	試行錯誤	新しい物事をするとき、試みと失敗を繰り返しながら次第に見通しを立てて、解決策や適切な方法を見いだしていくこと。 「試行」は試しに行くこと。「錯誤」は誤り・間違ひ。 (三省堂 新明解四字熟語辞典) 一度失敗しても、また別の方法で、何度も繰り返し、適切な方法と結果を得ること。また、そうした試みと失敗を重ねて、解決していく方法。 (学研 四字熟語辞典)		<table><tr><td>北海道</td><td>ア</td><td>研究を二回</td></tr><tr><td>東北</td><td>◎</td><td>「試し」＋「くりかえし」様子</td></tr><tr><td>関東</td><td>●</td><td>「試す」＋指文字「エ」を円を描きながら下に動かす</td></tr><tr><td>北信越</td><td></td><td>「工夫」＋「積み重ねる」</td></tr><tr><td>東海</td><td>●</td><td>試す＋失敗＋繰り返し</td></tr><tr><td>近畿</td><td>◎</td><td><工夫>を左右に2回繰り返し返す</td></tr><tr><td>中国</td><td>●</td><td>繰り返し＋工夫</td></tr><tr><td>四国</td><td>ア</td><td>/試す/ ＋ /工夫/の形を起こしたり倒したり</td></tr><tr><td>九州</td><td></td><td>試す(5指をつまんで) ＋ 繰り返し返す(下へ)</td></tr></table>	北海道	ア	研究を二回	東北	◎	「試し」＋「くりかえし」様子	関東	●	「試す」＋指文字「エ」を円を描きながら下に動かす	北信越		「工夫」＋「積み重ねる」	東海	●	試す＋失敗＋繰り返し	近畿	◎	<工夫>を左右に2回繰り返し返す	中国	●	繰り返し＋工夫	四国	ア	/試す/ ＋ /工夫/の形を起こしたり倒したり	九州		試す(5指をつまんで) ＋ 繰り返し返す(下へ)	● 組み合わせ	9班の案を見ると、<工夫>＋<積み重ねる>もなるほどと思われる。 また、<試す>＋<失敗>＋<繰り返し>もあるが、<試す>には、成功と失敗が含まれている。どれが意味に合う表現か検討。 ⇒<試す・トライ>＋<繰り返し・いたちごっこ> ※関東班の案を採用			
北海道	ア	研究を二回																																		
東北	◎	「試し」＋「くりかえし」様子																																		
関東	●	「試す」＋指文字「エ」を円を描きながら下に動かす																																		
北信越		「工夫」＋「積み重ねる」																																		
東海	●	試す＋失敗＋繰り返し																																		
近畿	◎	<工夫>を左右に2回繰り返し返す																																		
中国	●	繰り返し＋工夫																																		
四国	ア	/試す/ ＋ /工夫/の形を起こしたり倒したり																																		
九州		試す(5指をつまんで) ＋ 繰り返し返す(下へ)																																		
30	家内安全	家屋と家族が、病気や天災などの不幸な出来事が無いこと。 (例:「家内安全を祈る」など) (贈る言葉情報館より)		<table><tr><td>北海道</td><td>●</td><td>家庭＋安全</td></tr><tr><td>東北</td><td>●</td><td>「家」＋「安全」</td></tr><tr><td>関東</td><td>●</td><td>「家」＋そろえて置いた両手を静かに左右に離す</td></tr><tr><td>北信越</td><td></td><td>「家」＋「中」＋「安全」</td></tr><tr><td>東海</td><td>●</td><td>家庭＋安全</td></tr><tr><td>近畿</td><td>●</td><td><家庭>＋<安全></td></tr><tr><td>中国</td><td>●</td><td>家＋守る</td></tr><tr><td>四国</td><td>●</td><td>/家庭/ ＋ /安全/</td></tr><tr><td>九州</td><td></td><td>家庭(非利き手は最後までそのまま)＋安心(片手のみ)</td></tr></table>	北海道	●	家庭＋安全	東北	●	「家」＋「安全」	関東	●	「家」＋そろえて置いた両手を静かに左右に離す	北信越		「家」＋「中」＋「安全」	東海	●	家庭＋安全	近畿	●	<家庭>＋<安全>	中国	●	家＋守る	四国	●	/家庭/ ＋ /安全/	九州		家庭(非利き手は最後までそのまま)＋安心(片手のみ)	● 組み合わせ	この場合の「安全」とは、病気や天災等の不幸な出来事が無いという意味。 9班の案を見ると、関東班の表現が意味に合うのではない。家、平和・無難というイメージでいい。 ⇒<家>＋<セーフ・無難> ※関東班の案を採用			
北海道	●	家庭＋安全																																		
東北	●	「家」＋「安全」																																		
関東	●	「家」＋そろえて置いた両手を静かに左右に離す																																		
北信越		「家」＋「中」＋「安全」																																		
東海	●	家庭＋安全																																		
近畿	●	<家庭>＋<安全>																																		
中国	●	家＋守る																																		
四国	●	/家庭/ ＋ /安全/																																		
九州		家庭(非利き手は最後までそのまま)＋安心(片手のみ)																																		
31	心が洗われる	穢れた(けがれた)部分を洗い落とすことで心が綺麗になる。または、そのように感じられるという意味の慣用表現。つまり、清々しい気分になることを表す。景色、芸術、音楽、人の真心や行動など、さまざまなものに対して使われる。 (例:「懐かしい故郷の景色を見ていると心が洗われる」など) (コトバの意味辞典より)		<table><tr><td>北海道</td><td>●△</td><td>①心＋きれい ②頭がすっきりする</td></tr><tr><td>東北</td><td>●</td><td>「心」＋「すっきり」</td></tr><tr><td>関東</td><td>◎</td><td>指を伸ばした両手の指先を額の左右に置き、同時に後ろに払う</td></tr><tr><td>北信越</td><td></td><td>「心」＋「スッキリ」</td></tr><tr><td>東海</td><td>保</td><td>両手をおでこに当て、後ろに弾く</td></tr><tr><td>近畿</td><td>◎</td><td>心がすっきりする様子</td></tr><tr><td>中国</td><td>●</td><td>心＋すっきり</td></tr><tr><td>四国</td><td>ア</td><td>/心/ ＋ /きれいになる/ (きれいのアレンジ) 短く</td></tr><tr><td>九州</td><td></td><td>心＋洗う(手話はクリーニング)＋きれい</td></tr></table>	北海道	●△	①心＋きれい ②頭がすっきりする	東北	●	「心」＋「すっきり」	関東	◎	指を伸ばした両手の指先を額の左右に置き、同時に後ろに払う	北信越		「心」＋「スッキリ」	東海	保	両手をおでこに当て、後ろに弾く	近畿	◎	心がすっきりする様子	中国	●	心＋すっきり	四国	ア	/心/ ＋ /きれいになる/ (きれいのアレンジ) 短く	九州		心＋洗う(手話はクリーニング)＋きれい	● 組み合わせ	「心が洗われる」とは、けがれた部分を洗い落とすことで心が(頭の中が)きれいになるということ。 9班の案を見ると、「心」を使う班が多いが、この場合の「心」は頭の中を意味するのでは?と意見が分かれた。 関東班、東海班の案もなるほど。 ⇒<頭>＋<美しいB(きれい)> ※北海道①・近畿班の案を参考			
北海道	●△	①心＋きれい ②頭がすっきりする																																		
東北	●	「心」＋「すっきり」																																		
関東	◎	指を伸ばした両手の指先を額の左右に置き、同時に後ろに払う																																		
北信越		「心」＋「スッキリ」																																		
東海	保	両手をおでこに当て、後ろに弾く																																		
近畿	◎	心がすっきりする様子																																		
中国	●	心＋すっきり																																		
四国	ア	/心/ ＋ /きれいになる/ (きれいのアレンジ) 短く																																		
九州		心＋洗う(手話はクリーニング)＋きれい																																		
32	ウェビナー	ウェブ(Web)とセミナー(Seminar)を合わせた造語のことで、インターネット回線を通じてオンラインで行うセミナー、またはセミナーを行うためのツールのこと。 主催者(ホスト)と参加者(パネリスト)、視聴者に分かれ、開催者側のホストとパネリストは自分の画面や音声と共有することができるが、開催者側が指定したときに発言が可能となる。 開催者側は誰が視聴しているのか確認でき、質疑応答や投票、アンケートなどをとることも可能。どちらかといえば一方で配信するシステムのため、少人数の講演者が視聴者向かって話す講演会や会社説明会、研修などに向いている。		<table><tr><td>北海道</td><td>ア</td><td>「セミナー」の「セ」を「W」に変更</td></tr><tr><td>東北</td><td>◎</td><td>右手でアメリカ指文字「W」＋「政治」様子</td></tr><tr><td>関東</td><td>◎</td><td>指文字「W」で「講演」</td></tr><tr><td>北信越</td><td></td><td>「W」＋「見る」</td></tr><tr><td>東海</td><td>ア</td><td>セミナーのセをWにする</td></tr><tr><td>近畿</td><td>◎</td><td><セミナー>の形で、片手は<W>の指文字をアレンジ</td></tr><tr><td>中国</td><td>●</td><td>ウェブ＋セミナー</td></tr><tr><td>四国</td><td>○</td><td>/講演/の右手を/W/で表現</td></tr><tr><td>九州</td><td></td><td>「講演」の表現の右手を指文字の「わ」で動かす</td></tr><tr><td>北海道</td><td>●</td><td>麦＋(スプーンで)食べる</td></tr></table>	北海道	ア	「セミナー」の「セ」を「W」に変更	東北	◎	右手でアメリカ指文字「W」＋「政治」様子	関東	◎	指文字「W」で「講演」	北信越		「W」＋「見る」	東海	ア	セミナーのセをWにする	近畿	◎	<セミナー>の形で、片手は<W>の指文字をアレンジ	中国	●	ウェブ＋セミナー	四国	○	/講演/の右手を/W/で表現	九州		「講演」の表現の右手を指文字の「わ」で動かす	北海道	●	麦＋(スプーンで)食べる	○ 合成	9班の案を見ると、ほとんどが同じ表現。 ⇒<W>で<セミナー>の動作 ※北海道・東海・近畿班の案を採用
北海道	ア	「セミナー」の「セ」を「W」に変更																																		
東北	◎	右手でアメリカ指文字「W」＋「政治」様子																																		
関東	◎	指文字「W」で「講演」																																		
北信越		「W」＋「見る」																																		
東海	ア	セミナーのセをWにする																																		
近畿	◎	<セミナー>の形で、片手は<W>の指文字をアレンジ																																		
中国	●	ウェブ＋セミナー																																		
四国	○	/講演/の右手を/W/で表現																																		
九州		「講演」の表現の右手を指文字の「わ」で動かす																																		
北海道	●	麦＋(スプーンで)食べる																																		

33	オートミール	オート麦を脱穀して調理しやすく加工したもの。 「oats(オート麦)」と「meal(食事)」という英単語を掛け合わせて「オートミール」と呼ばれている。 食物繊維、鉄分、カルシウム、ビタミンB1など、美容と健康に欠かせない様々な栄養素を豊富に含まれている。 (プラントベース・ポータルサイトVegewelより)		東北 ◎ 左手で「握りこぶし(小麦)」＋右手で「ミ」指文字 関東 ● 「麦」＋ 丸めた左手5指の人差指側から親指側へ、掌を下にした右手の指先を小刻みに動かしながら円を描く 北信越 「麦」＋ スプーンで食べるしぐさ 東海 ● 指文字「O」、穀物 ＋ すりつぶす 近畿 ◎ <むぎ> ＋ スプーンですくって食べる様子 中国 ● 麦 ＋ 食べる 四国 ● /オ/ ＋ /麦/ 九州 指文字「お」＋ 麦 ＋ スプーン	● 組み合わせ	「オートミール」は、牛乳などをいれて温め柔らかくして食べる。離乳食などでも使われている。 9班の案を見ると、<麦>＋<食べる>の案が多いが、同級になってしまう。 日本の「おかゆ」のイメージに似ている食べ物なので<おかゆ> (<米>＋<両手で粘りを表現)>を参考にしてはどうかという意見でまとまった。 ⇒<麦>＋<おかゆ>の2動作目 ※班の案を採用なし
34	イルミネーション	電球、発光ダイオード、光ケーブルなどにより淡い光の光源を集め、電飾看板・風景・人物などをかたどり、夜間における風景などを作り出す装飾である。 電飾(でんしよく)とも呼ばれる。 (ウィキペディアより)		北海道 ア 電気を点滅しているように繰り返す 東北 ◎ 光っている様子 関東 ◎ 5指をつまんだ両手を頭より高く上げて、指を開閉しながら左右斜め下へ動かす 北信越 ピカピカ光る様子 東海 ● 指文字「イ」＋ 両手の指を弾いて左右に広げる 近畿 ◎ 星が輝く様子 中国 △ ピカピカ 四国 ア 少し体を引いて 両手で/光る/ 九州 両手で「星」の表現を自分に向けて、上から左右に弧を描きながら下へ表現する	ア アレンジ	「イルミネーション」とは、神戸の「ルミナリエ」やクリスマスの電飾などのイメージ。 9班の案を見ると、星が輝くイメージの表現があるが、電飾なので、<電気>を使う方がよい。 指を前に向けてピカピカ光りながら左右斜めに弧を描き羽根下ろす表現とすることに。垂直に円を描くなど、飾りつけの状況に応じた表現にすればよい。 ⇒両手<電気>を前に向けて繰り返ししながら左右に少し弧を描きながら下ろしていく ※関東班の案を参考
35	骨髄提供	白血病をはじめとする血液疾患などのため「骨髄移植」が必要な患者さんに、骨髄・末梢血幹細胞などを提供することです。 “18歳以上、54歳以下で健康状態が良好な方”などいくつかの条件を満たし、家族の同意があれば、骨髄バンクに「ドナー」として登録できます。 (JMDP 日本骨髄バンクHPより)	参考:<骨髄(新Ⅲ－44)> <臓器移植(続①－54)>	北海道 ● 骨髄 ＋ 提供 東北 ● 「骨髄」＋「提供」 関東 ● 「骨髄」＋ 片手で「提供」 北信越 「背骨」＋「利用」＋「提供」 (「骨髄」の手話をあえてこの方法で表現してみました) 東海 ● 骨髄 ＋ 提供 近畿 ● <骨髄※>＋<提供> ※本によって表現が違うので 中国 ● 骨髄 ＋ 提供 四国 ア /骨髄/ 右手の人差し指を前方に出す(提供) 九州 ① 骨髄 ＋ 提供 ② 骨髄(非利き手はそのまま)＋ あげる	● 組み合わせ	9班の案を見ると、だいたい同じような表現。 <骨髄>は正しく表す必要がある。 注:<骨髄>は、『新しい手話Ⅲ』－44と『学習辞典Ⅱ』の表現が異なる。新しい手話Ⅲの表現を使う。 ⇒<骨髄>＋左手そのままで、右手<提供> ※関東班の案を採用
36	骨髄バンク	白血病をはじめとする血液疾患などのため「骨髄移植」などが必要な患者さんと、それを提供するドナーをつなぐ公的事業。 適合するドナーが見つかる確率は、兄弟姉妹の間でも4分の1。血の繋がっていない他人になると数百～数万分の1です。(政府広報オンラインより)		北海道 ア 骨髄 ＋ 銀行(上から下へ一度) 東北 ● 「骨髄」＋「登録」 関東 ● 「骨髄」＋「しまう」 北信越 「背骨」＋「利用」＋「銀行」 東海 ● 骨髄 ＋ 銀行 近畿 ア <骨髄>＋<提供>＋<組織> 中国 ● 骨髄 ＋ 繋ぐ 四国 ● /骨髄/ 右手の人差し指を前方に出す(提供) 九州 骨髄 ＋ つなぐ	● 組み合わせ	9班の案を見ると、<登録>や<つなぐ>など意味を考慮した案が見られる。 バンク(銀行)の手話を使うか、登録・保存・繋ぐなどの意味に合わせた表現にするか意見が分かれた。 結果、事業説明をする際には、意味に合う手話を使えばよいので、今ある手話を使うことに。 注:<骨髄>は、『新しい手話Ⅲ』－44と『学習辞典Ⅱ』の表現が異なる。新しい手話Ⅲの表現を使う。 ⇒<骨髄>＋<銀行> ※東海班の案を参考
37	プロデューサー	主に企画とそれに関わる全ての責任を負うことです。これは、どの業界でも同じポジションとなる。 ① 企画立案 ② スケジュールの大枠を組む ③ 総責任者として企画がスムーズに進むようにディレクターと話し合い問題点などについて適切な指示を出す		北海道 ◎ 国際手話アルファベットPで計画 ＋ 人 東北 ● 「ボス」＋「指導」 関東 ● 「まとめる」＋「監督、指示」 北信越 「P」＋「監督」 東海 ● 指文字「P」、指示 近畿 ア <総合>＋<責任>＋<指導> 中国 ● 総合 ＋ 責任者 四国 ア /P/ を肩に乗せる (肩書のアレンジ) 九州 まとめる ＋ 任される ＋ 監督	● 組み合わせ	9班の案を見ると、意味を考慮した表現の工夫がみられる。「総責任者」の意味なので<まとめる・総合>＋<双肩に担う> (両肩に<責任>) の表現とすることで意見がまとまった。 ⇒<まとめる・総合・総合・つまり・要するに・総務・総要>＋<双肩に担う・背負って立つ> ※九州班の案を参考
38	ディレクター	プロデューサーが企画したプロジェクトを進行するために、現場の総指揮をとる。 ① 作業の効率化 ② プロジェクトメンバーへのアドバイスなどコミュニケーションを頻繁にとって現場の作業が円滑に進むように調整する ③ クライアントと現場の間に入って要望や作業のすり合わせを行う		北海道 ◎ 国際手話アルファベットDで計画＋監督 東北 ● 「調整」＋「指導」 関東 ● 「責任、担当」＋「監督、指示」 北信越 「D」＋「監督」 東海 ● 指文字「D」、指示 近畿 ア <指導> (<監督>の表現) 中国 ● 調整 ＋ 者 四国 ア /D/ を肩に乗せる (肩書のアレンジ) 九州 任される ＋ 監督	△ ラベルの追加	「プロデューサー」と「ディレクター」を一緒に検討。 9班の案を見ると、「D」を使う班があるが、「プロデューサー」と同様に指文字は使わないことに。 「現場の総指揮」の意味なので、<監督>と同じ表現とすることで意見がまとまった。 ⇒<監督・采配をとる・采配を振る>と同じ(左右に1回) ※近畿班の案を参考
39	キャッチフレーズ	Catchphrase: 広告や宣伝で、感覚に訴えて、強い印象を与えるように工夫された短い文句。うたい文句。(コトバンクより)		北海道 ◎ 左掌で右手拳をつかむ ＋ 言葉 東北 ◎ 左手で指文字「キ」＋「普及」 関東 ◎ 両手2指の指先を向き合せて素早く顔の方へ引上げる ＋ つまんだ両手5指を開きながら前方へ動かす 北信越 右手「C」を左手でキャッチする 東海 ● 魅力 ＋ 句 近畿 ◎ Na.13の「キャッチコピー」より大きく広げる	● 組み合わせ	「キャッチコピー」と「キャッチフレーズ」を合わせて検討。 9班の案を見ると、1動作目が「キャッチする」「魅力」「気にかかる」など複数案があり、どれが意味に合うか検討。2動作目は「句」または「言葉」どちらが意味に合うかに絞られた。 ⇒目の位置で<引っ掛かる・興味日>＋<言葉>

		動かし、そして、購買行動に繋げることができるのが理想の「キャッチコピー」(かんでんCSフォーラムより)		<table><tr><td>中国</td><td>●</td><td>キャッチ + イ指文字 + 言葉</td></tr><tr><td>四国</td><td>◎</td><td>目の位置で/気にかかる/ + /文/</td></tr><tr><td>九州</td><td></td><td>「言葉」の表現を前に出しながら上の手を下に近づける</td></tr></table>	中国	●	キャッチ + イ指文字 + 言葉	四国	◎	目の位置で/気にかかる/ + /文/	九州		「言葉」の表現を前に出しながら上の手を下に近づける		※四国班の案を参考																					
中国	●	キャッチ + イ指文字 + 言葉																																		
四国	◎	目の位置で/気にかかる/ + /文/																																		
九州		「言葉」の表現を前に出しながら上の手を下に近づける																																		
40	あおり運転	後方から極端に車間距離をつめて威圧したり、理由のないバッシングや急停止をしたり、故意に特定の車両の運転を妨害するような振る舞いをしたりする迷惑行為。 なお、マスコミで度々取り上げられるようになった『ロード・レイジ』とは、あおり運転をする人自体を意味しています。(交通事故弁護士ナビより)		<table><tr><td>北海道</td><td>ア</td><td>「追い越し」の右手を追い越さず左手ギリギリで止める</td></tr><tr><td>東北</td><td>◎</td><td>左手で「車」+右手「車」で「蛇行」様子</td></tr><tr><td>関東</td><td>◎</td><td>両手で「車」。前後に並べ後ろの「車」を左右に動かす</td></tr><tr><td>北信越</td><td></td><td>あおり運転の様子から</td></tr><tr><td>東海</td><td>○</td><td>左手コを前、右手コの形で左右に揺らす</td></tr><tr><td>近畿</td><td>◎</td><td>車を手で2台並べ、前の車を動かす</td></tr><tr><td>中国</td><td>ア?</td><td>追いかける</td></tr><tr><td>四国</td><td>ア</td><td>両手で前後に/車/ 後方の手で急き立てる様子</td></tr><tr><td>九州</td><td></td><td>不良 + 渋滞(非利き手はそのままで利き手を左右に動かす)</td></tr></table>	北海道	ア	「追い越し」の右手を追い越さず左手ギリギリで止める	東北	◎	左手で「車」+右手「車」で「蛇行」様子	関東	◎	両手で「車」。前後に並べ後ろの「車」を左右に動かす	北信越		あおり運転の様子から	東海	○	左手コを前、右手コの形で左右に揺らす	近畿	◎	車を手で2台並べ、前の車を動かす	中国	ア?	追いかける	四国	ア	両手で前後に/車/ 後方の手で急き立てる様子	九州		不良 + 渋滞(非利き手はそのままで利き手を左右に動かす)	保存手話	9班の案を見ると、あおる車が自分の車の前か後ろに分かれた。 特徴的なあおり方は、後方からの行為なので<車>を前後に置き、後方の車をあおるよう動かすことに。 バッシング、横づけ、前方で急ブレーキをかけるなど、あおり方は、状況に合わせて表現すればよい。 ⇒<自動車>を前後に置き、同時に前に進めながら後ろの車をあおるように蛇行させる ※関東・北信越・東海班の案を採用			
北海道	ア	「追い越し」の右手を追い越さず左手ギリギリで止める																																		
東北	◎	左手で「車」+右手「車」で「蛇行」様子																																		
関東	◎	両手で「車」。前後に並べ後ろの「車」を左右に動かす																																		
北信越		あおり運転の様子から																																		
東海	○	左手コを前、右手コの形で左右に揺らす																																		
近畿	◎	車を手で2台並べ、前の車を動かす																																		
中国	ア?	追いかける																																		
四国	ア	両手で前後に/車/ 後方の手で急き立てる様子																																		
九州		不良 + 渋滞(非利き手はそのままで利き手を左右に動かす)																																		
41	あおり運転厳罰化	他の車両の通行を妨害し、重大な交通事故にもつながる極めて悪質な行為です。令和2(2020)年6月30日に「あおり運転」を取り締まる「妨害運転罪」が創設されました。これにより、違反1回で免許取消処分となり、最長5年懲役刑や罰金など厳しい罰則が科されます。(交通事故弁護士ナビより) ※あおり運転は以前から問題視されており、厳罰化が強く望まれていましたが、その直接的な契機となったのは、2017年6月に東名高速道路下り線で起きたあおり運転事故です		<table><tr><td>北海道</td><td>ア</td><td>40番(「追い越し」の右手を追い越さず左手ギリギリで止める) + 厳しい + 罰 + 代える</td></tr><tr><td>東北</td><td>◎</td><td>左手で「車」+右手「車」で「蛇行」様子 + 罰</td></tr><tr><td>関東</td><td>●</td><td>「40あおり運転」+ 左手「車」を残し右手で「罰」</td></tr><tr><td>北信越</td><td></td><td>「あおり運転」+「ダメ」+「通知」</td></tr><tr><td>東海</td><td>○</td><td>左手コを前、右手コの形で左右に揺らす 厳しく 禁止</td></tr><tr><td>近畿</td><td>◎</td><td><あおり運転>+<罰>+<厳しい></td></tr><tr><td>中国</td><td>ア? ○?</td><td>追いかける + 禁止</td></tr><tr><td>四国</td><td>ア●</td><td>上記の表現 + /厳しい/ダメ/化/</td></tr><tr><td>九州</td><td></td><td>不良 + 渋滞(非利き手はそのままで利き手を左右に動かす) + 逮捕</td></tr></table>	北海道	ア	40番(「追い越し」の右手を追い越さず左手ギリギリで止める) + 厳しい + 罰 + 代える	東北	◎	左手で「車」+右手「車」で「蛇行」様子 + 罰	関東	●	「40あおり運転」+ 左手「車」を残し右手で「罰」	北信越		「あおり運転」+「ダメ」+「通知」	東海	○	左手コを前、右手コの形で左右に揺らす 厳しく 禁止	近畿	◎	<あおり運転>+<罰>+<厳しい>	中国	ア? ○?	追いかける + 禁止	四国	ア●	上記の表現 + /厳しい/ダメ/化/	九州		不良 + 渋滞(非利き手はそのままで利き手を左右に動かす) + 逮捕	● 組み合わせ	法律名なので、そのままの表現が必要。 「あおり運転」の表現が決まったので、組み合わせで。 ⇒<あおり運転>+<罰・禁物・処罰>+<きつい(きびしい)>+<改める・～化> ※北海道・九州班の案を参考			
北海道	ア	40番(「追い越し」の右手を追い越さず左手ギリギリで止める) + 厳しい + 罰 + 代える																																		
東北	◎	左手で「車」+右手「車」で「蛇行」様子 + 罰																																		
関東	●	「40あおり運転」+ 左手「車」を残し右手で「罰」																																		
北信越		「あおり運転」+「ダメ」+「通知」																																		
東海	○	左手コを前、右手コの形で左右に揺らす 厳しく 禁止																																		
近畿	◎	<あおり運転>+<罰>+<厳しい>																																		
中国	ア? ○?	追いかける + 禁止																																		
四国	ア●	上記の表現 + /厳しい/ダメ/化/																																		
九州		不良 + 渋滞(非利き手はそのままで利き手を左右に動かす) + 逮捕																																		
42	軽視	軽くみること。軽く考えて、その価値や影響力を認めないこと。 (例:「人命を軽視する風潮」など)	参考:<重視(わ4ー189)>	<table><tr><td>北海道</td><td>ア</td><td>「重視」重いを軽いに変更</td></tr><tr><td>東北</td><td></td><td>「軽い」+「視る」</td></tr><tr><td>関東</td><td>●</td><td>「くだらない」+「見る」</td></tr><tr><td>北信越</td><td></td><td>軽く見る(下に見る)様子から</td></tr><tr><td>東海</td><td>●</td><td>軽い + 見る</td></tr><tr><td>近畿</td><td>●</td><td><見る>+<つまらない></td></tr><tr><td>中国</td><td>●</td><td>冷たく + 捨てる</td></tr><tr><td>四国</td><td>保</td><td>鼻先でつまんで 前方に捨てる様子</td></tr><tr><td>九州</td><td></td><td>「た」(非利き手を下にしそのまま) + 見る(利き手) + つまらない(向きは逆に。利き手)</td></tr></table>	北海道	ア	「重視」重いを軽いに変更	東北		「軽い」+「視る」	関東	●	「くだらない」+「見る」	北信越		軽く見る(下に見る)様子から	東海	●	軽い + 見る	近畿	●	<見る>+<つまらない>	中国	●	冷たく + 捨てる	四国	保	鼻先でつまんで 前方に捨てる様子	九州		「た」(非利き手を下にしそのまま) + 見る(利き手) + つまらない(向きは逆に。利き手)	● 組み合わせ	9班の案を見ると、<くだらない>+<見る>や<見る>+<つまらない>や、四国班の保存手話などもいい。 「A」「B」の分けつ意見もあったが、<重視(わ4ー189)>があるので、同様とすることに。 ⇒<軽い>+<見る> ※北海道・東北班の案を採用			
北海道	ア	「重視」重いを軽いに変更																																		
東北		「軽い」+「視る」																																		
関東	●	「くだらない」+「見る」																																		
北信越		軽く見る(下に見る)様子から																																		
東海	●	軽い + 見る																																		
近畿	●	<見る>+<つまらない>																																		
中国	●	冷たく + 捨てる																																		
四国	保	鼻先でつまんで 前方に捨てる様子																																		
九州		「た」(非利き手を下にしそのまま) + 見る(利き手) + つまらない(向きは逆に。利き手)																																		
43	麻婆丼	丼物の一つで、御飯の上に「麻婆豆腐(まーぼーどうふ)」を載せた料理をいいます。また、麻婆豆腐とは、中華料理(四川料理)の一つで、豚挽肉やネギ、生姜、赤唐辛子、花椒、豆板醤などを炒め、その後、鶏がらスープを入れ、とろみをつけながら豆腐を煮た料理をいいます。(x-Memory 生活情報サイトより)		<table><tr><td>北海道</td><td>●</td><td>辛い + 豆腐 + 丼</td></tr><tr><td>東北</td><td></td><td>「豆腐」+「辛い」+「丼」表現</td></tr><tr><td>関東</td><td>◎</td><td>指文字「マ」+「ボ」+「丼」</td></tr><tr><td>北信越</td><td></td><td>「ま」+「ぼ」+「丼」</td></tr><tr><td>東海</td><td>●</td><td>赤い + とろみ + 丼</td></tr><tr><td>近畿</td><td>●</td><td><辛い>+<豆腐>+<丼></td></tr><tr><td>中国</td><td>●</td><td>豆腐 + 丼</td></tr><tr><td>四国</td><td>●</td><td>/マ/を下へ + /ボ/横へ + /丼/</td></tr><tr><td>九州</td><td></td><td>豆腐 + 辛い + 丼</td></tr></table>	北海道	●	辛い + 豆腐 + 丼	東北		「豆腐」+「辛い」+「丼」表現	関東	◎	指文字「マ」+「ボ」+「丼」	北信越		「ま」+「ぼ」+「丼」	東海	●	赤い + とろみ + 丼	近畿	●	<辛い>+<豆腐>+<丼>	中国	●	豆腐 + 丼	四国	●	/マ/を下へ + /ボ/横へ + /丼/	九州		豆腐 + 辛い + 丼	組み合わせ	9班の案を見ると、<辛い><豆腐>がついている班があるが、関東班の案が分かりやすいのではないかな。 ⇒指文字<マ>を下ろし、指文字<ボ>+<丼物> ※関東・四国班の案を採用			
北海道	●	辛い + 豆腐 + 丼																																		
東北		「豆腐」+「辛い」+「丼」表現																																		
関東	◎	指文字「マ」+「ボ」+「丼」																																		
北信越		「ま」+「ぼ」+「丼」																																		
東海	●	赤い + とろみ + 丼																																		
近畿	●	<辛い>+<豆腐>+<丼>																																		
中国	●	豆腐 + 丼																																		
四国	●	/マ/を下へ + /ボ/横へ + /丼/																																		
九州		豆腐 + 辛い + 丼																																		
44	ご当地	① 他の土地の人が、敬意を表して訪問した土地をいう語。御当所。 (例:「ご当地は初お目見得です」) ② その土地特有の、また、その地域独特のという意を含んで使う語。他の語と複合して使うことが多い。 (例:「ご当地ソング」「ご当地検定」「ご当地グルメ」など)	地元愛が強い「ご当地ナンバープレート」	<table><tr><td>北海道</td><td>●</td><td>左手で場所 + 右手で指差し</td></tr><tr><td>東北</td><td>◎</td><td>「ここ」+「場所」</td></tr><tr><td>関東</td><td>●</td><td>① 掌上向きで丁寧に又は人差指で指し示す + 場所 ② 「場所」+「誇り」</td></tr><tr><td>北信越</td><td></td><td>「地域」</td></tr><tr><td>東海</td><td>●</td><td>特徴 + 場所</td></tr><tr><td>近畿</td><td>ア</td><td><あなた>+<地域></td></tr><tr><td>中国</td><td>●</td><td>自分 + 土地</td></tr><tr><td>四国</td><td>△</td><td>/位置/のラベル追加</td></tr><tr><td>九州</td><td></td><td>「地元」の表現を顔の上の方で表現する</td></tr></table>	北海道	●	左手で場所 + 右手で指差し	東北	◎	「ここ」+「場所」	関東	●	① 掌上向きで丁寧に又は人差指で指し示す + 場所 ② 「場所」+「誇り」	北信越		「地域」	東海	●	特徴 + 場所	近畿	ア	<あなた>+<地域>	中国	●	自分 + 土地	四国	△	/位置/のラベル追加	九州		「地元」の表現を顔の上の方で表現する	ア アレンジ	9班の案を見ると、主体が自分が相手かによって表現が分かれている。主体を特定しない方法として<位置>(やや強めに)が合うのではないかな。 ⇒やや強めに<位置>(その+場所) ※東北・関東①・四国班の案を採用			
北海道	●	左手で場所 + 右手で指差し																																		
東北	◎	「ここ」+「場所」																																		
関東	●	① 掌上向きで丁寧に又は人差指で指し示す + 場所 ② 「場所」+「誇り」																																		
北信越		「地域」																																		
東海	●	特徴 + 場所																																		
近畿	ア	<あなた>+<地域>																																		
中国	●	自分 + 土地																																		
四国	△	/位置/のラベル追加																																		
九州		「地元」の表現を顔の上の方で表現する																																		
45	紛糾	意見や主張などが対立してもつれること。ごたごた。紛乱。 (例:「予算委員会が紛糾する」など) (goo国語辞書より)		<table><tr><td>北海道</td><td>ア</td><td>「争い」上に上げる時、手を広げてぶつける</td></tr><tr><td>東北</td><td></td><td>「ごちゃごちゃ」様子</td></tr><tr><td>関東</td><td>●</td><td>両手拳を開いて2回(前後と左右)打合せる + 「混乱」</td></tr><tr><td>北信越</td><td></td><td>もつれてゴタゴタする様子から</td></tr><tr><td>東海</td><td>△</td><td>揉めるに同じ</td></tr><tr><td>近畿</td><td>ア</td><td><討論>+ 盛り上がる + トラブルに巻き込まれる</td></tr><tr><td>中国</td><td>△</td><td>揉める</td></tr><tr><td>四国</td><td>ア</td><td>/会話/や/討論/のアレンジ 指先を少し丸めてねじりながら上へ</td></tr><tr><td>九州</td><td></td><td>① すばめた両手を合わせながら、上にあげる ② すばめた両手を合わせながら、互い違いに上にあげる</td></tr><tr><td>北海道</td><td>△</td><td>磨くに追加</td></tr></table>	北海道	ア	「争い」上に上げる時、手を広げてぶつける	東北		「ごちゃごちゃ」様子	関東	●	両手拳を開いて2回(前後と左右)打合せる + 「混乱」	北信越		もつれてゴタゴタする様子から	東海	△	揉めるに同じ	近畿	ア	<討論>+ 盛り上がる + トラブルに巻き込まれる	中国	△	揉める	四国	ア	/会話/や/討論/のアレンジ 指先を少し丸めてねじりながら上へ	九州		① すばめた両手を合わせながら、上にあげる ② すばめた両手を合わせながら、互い違いに上にあげる	北海道	△	磨くに追加	ア アレンジ	9班の案を見ると、争うさま、揉めるさま、ごちゃごちゃするさまの表現が多い。これらの表現に共通する手話として<葛藤>をアレンジした。 ⇒体の真ん中で<葛藤・紛争> ※班の案を採用なし
北海道	ア	「争い」上に上げる時、手を広げてぶつける																																		
東北		「ごちゃごちゃ」様子																																		
関東	●	両手拳を開いて2回(前後と左右)打合せる + 「混乱」																																		
北信越		もつれてゴタゴタする様子から																																		
東海	△	揉めるに同じ																																		
近畿	ア	<討論>+ 盛り上がる + トラブルに巻き込まれる																																		
中国	△	揉める																																		
四国	ア	/会話/や/討論/のアレンジ 指先を少し丸めてねじりながら上へ																																		
九州		① すばめた両手を合わせながら、上にあげる ② すばめた両手を合わせながら、互い違いに上にあげる																																		
北海道	△	磨くに追加																																		

46	研鑽	学問などを深く究めること。 (例:「日夜研鑽を積む」「自ら研鑽して習得する」など)		東北 「腕を磨く」様子 関東 保 「磨く」 北信越 「磨く」 東海 保 腕を磨く 近畿 ア <学ぶ>を強く繰り返して表す 中国 ● 一生懸命 + 研究 四国 ● /学問 (Ⅱ389) / + /勉強/ 九州 磨く	△ ラベルの追加	9 班の案を見ると、ほとんどが同じ表現。 ⇒<磨く>と同じ ※北海道・東北・関東・北信越・九州班の案を採用
47	移籍	① スポーツ選手などが所属しているチームを移ること。 (例:「海外移籍」「移籍金」「有名サッカー選手の移籍が決定した」など) ② 現在の戸籍から(結婚などで)他の戸籍に移ること。 (オンライン国語辞典より)		北海道 ア 「移動」両手で 東北 「移動」様子 関東 保 ① 親指を立てて手前から斜め前方に動かす ② 「家」+「男」又は「女」を胸の前に置き斜め前方から「女」又は「男」を引き寄せる 北信越 「引っ越し」 東海 △ 変わるに同じ 近畿 ア <籍>+<移す> 中国 △ 移動 四国 ア /所属 (Ⅱ-5 1) / + 右手で/かわる/ 九州 ① ○○ (野球・サッカー等) + 変わる ② 戸籍 + 変わる	ア アレンジ	9 班の案を見ると、<引越し>や<籍>、<所属>など風数に分かれる。 ①スポーツ選手の移籍。 ②戸籍を移す 「A」「B」に分けるのではなく、どちらの場合も使える表現にしたい。 ⇒両手で<移動B> (5 指をつまみ右へ移動) ※北海道・北信越・中国班の案を採用
48	占星術	バビロニア・エジプト・ギリシャ・中国などに古くから発達し、17世紀ごろまで盛んに行われた星占い。黄道十二宮の位置や月・惑星の運行によって、人生・社会などについて吉凶を占ったり予言したりする。 (goo国語辞書より)	左側…西洋占星術 右側…東洋占星術	北海道 ◎ 左手で水晶玉を持つ様子 + 右手で虫眼鏡を回す 東北 ◎ 5 0 本の細い竹の棒で占い様子 関東 ● 「星」+ 右手指文字「ウ」を左手掌の上で回す 北信越 「星」+「占う」 東海 ● 星 + 占い 近畿 ● <星>+<占い> 中国 ○ 星 + 手 + 占い 四国 ア /星/ + /占い/ (手を見ず星の方向を見る) 九州 星 + 占い	● 組み合わせ	「占星術」とは、一般的に星占いのこと。 9 班の案を見ると、ほとんどが<星>+<占い>だが、水晶玉や易占いの表現もありおもしろい。<占い>は標準手話 (ルーベで手相を見る動作) を使うことに。 ⇒<星>を位置を変えて 2 回表す+<占い> ※東海・四国班の案を採用
49	透視	千里眼。心霊現象の一種。遠方での出来事のような、感覚的、知覚的には把握することのできない対象を、超感覚的に知ること。 対象が過去に起ったこと、あるいは未来に起こることである場合もあり、時間的・空間的に離れたものを「見る」ことができる。 箱の中身や封筒の中を知ることや特にX線透視といい、このほか人体の透視や夢による透視などがある。 (コトバンクより)		北海道 ◎ 左手を顔の前に置き右手で視線を作り左手を通り抜ける 東北 ● 「透明化」様子 関東 ◎ 指を開いて掌を手前にして立てた左手の指の間に右手人差し指を通す 北信越 「透ける」+「見る」 東海 △ 透明に同じ 近畿 ア <透明>の右手を 2 本指で通す 中国 △ 透明 四国 ● 左手/ウ/ + 右手人差し指で正面に出す 九州 (目を細めながら)「透明」の表現	ア アレンジ	9 班の案を見ると、色んな「透明」の表し方がある。標準手話の<透明>の動作を利用して、右手を<見る>に代えたら分かりやすいのではないか。 ⇒右手 2 指 (見る) で<透明>の動作 ※北海道班の案を採用
50	姓名判断	姓名が、人間の先天的ないしは後天的運氣と密接なかわりをもつという考えから、姓名を調べてその人の運命、吉凶を判断し、運勢を占うことをいう。中国の陰陽五行説や易学の考えから生まれた。		北海道 ● 名前 + 判断 (右手で左右に払う) 東北 ● 「名前」+「占い」 関東 ● 「名前」+「占い」 北信越 左手4指で姓名を表し右手で指さす+「判断」 東海 ● 名前 + 占い 近畿 ア <名前>+<占い>+<判断>のアレンジ 中国 ● 名前 + 占い + 判断 四国 ● /姓名/ (Ⅱ283) + /占い/ 九州 名前 + 非利き手の手のひらを上に向けて、指文字「う」を回す (利き手)	● 組み合わせ	「姓名判断」の「姓名」とは、フルネームのこと。 9 班の案を見ると、<名前>+<占い>または<名前>+<判断>の案が見られる。 ＜フルネーム＞の手話があるので、それを使うことに。 また、判断は「占い」の意味なので<占い>の標準手話 (ルーベで手相を見る動作) を使うことに。 ⇒<フルネーム>+<占い> ※四国班班の案を採用
51	手相	手の大きさや形状、硬軟、手の筋などの状態によって、人の性格、過去・現在・未来などについて知る方法。 一種の占いで、現在では手の筋によって未来の吉凶を判断する方法をさす。起源はインド。 日本では古くから中国の手相術が伝えられていたが、大正時代に生命線・運命線・頭脳線・感情線などの線を中心とする西洋の手相術がもたらされてから大きく変化した。		北海道 ◎ 手 + 虫眼鏡でポイントを合わせる様子 東北 ● 「手」+「占い」 関東 保 「占い」 北信越 手相をルーベで見るとしぐさ 東海 ● 左手を右手で丸を描き、様子 近畿 ● <手>+<占い> 中国 ○ 手 + 占い 四国 ア /占い/手を見る 九州 非利き手の手のひら上に向けて、虫眼鏡を見ている様子 (利き手)	△ ラベルの追加	<占い>の表現が、ルーベで手相を見る動作。 9 班の案を見ると、<手>をつけている班があるが、<占い> (ルーベで手相を見る動作) だけでいい。 ⇒<占い>と同じ ※関東・北信越・四国・九州班の案を採用
52	人相	① 人の顔つき。容貌(ようぼう)。 (例:「人相が変わる」「犯人の人相書き」など) ② 人の顔だちを見て、その人の運命・吉凶などを占うこと。 (例:「人相を見る」など) (goo国語辞書より)		北海道 ● 顔 + 様子 東北 ● 「顔」+「占い」 関東 ◎ ① 右手人差し指で顔の輪郭を示す + 両手で人の形を作る ② 顔の輪郭を示す + 右手を拡大鏡を握った形にして前後に動かす 北信越 ㊶「顔」+「形」 ㊷「顔」+「占う」 東海 ● 顔を右手で丸を描き、様子 近畿 ● <顔>+<様子> 中国 ● 顔 + 占い	<人相A> ● 組み合わせ <人相B> ● 組み合わせ	「人相」には、 ①人の顔つき。 ②顔だちを見て、人の運命を占う。 この2つの意味がある。それぞれに合う表現が必要。 9 班の案を見ると、顔に向けて<占い>を表す班があるが、標準手話の<占い> (ルーベで手相を見る動作) でいい。 <人相A> ⇒<顔A> (人差し指) +<状態> <人相B> ⇒<顔A> (人差し指) +<占い> ※「A」…中央道、宮道、近畿班の案を採用

				四国	●	/古い/正面を見る																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																																				</
--	--	--	--	----	---	-----------	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	----

59	貴族	① 身分や家柄の尊い人。また、社会的な特権を世襲している上流階級に属する人。明治憲法では華族といったが、第二次大戦後消滅。 ② 特権を持つ者や優雅な生活をする者のたとえ。（例:「労働貴族」「独身貴族」など） (goo国語辞書より)		東北 ● 「お金持ち」＋「家族」 関東 ● 「幹部」＋ 目の上辺りで右手を水平に右に動かす ＋ 「人々」 北信越 左手で「き」＋ 右手で「人々」 東海 ● 尊敬 ＋ 片手で人 近畿 ◎ 優雅な髭＋<人々> 中国 ● お金持ち ＋ 人 四国 ○ /民族/のアレンジ 片手は/キ/ 九州 お金持ち ＋ グループ	● 組み合わせ	9 班の案を見ると、<金持ち>や<尊敬>などいろいろある。 ①身分や家柄の尊い人 ②「労働貴族」「独身貴族」 などの場合にも使える表現を検討。 単なる「金持ちの人」では少し足りない。 また、2 動作目は、特定の人を意味するので、<～人・～者>の手話が合う。 ⇒<立派>＋<～人・～者> > (<知識人>の②) ※班の案を採用なし
60	農民	農業生産に従事する人。 (goo国語辞書より)	参考:<農業(わいー60)>	北海道 ● 農業 ＋ 人々 (片手) 東北 ● 「畑」＋「民」 関東 ● 「農業」＋「人々」 北信越 「農業」＋「人々」 東海 ● 畑を耕す ＋ 両手で人 近畿 ● <農業>＋<人々> 中国 ● 農業 ＋ 人 四国 ● /農業/ ＋ /人々/ 九州 耕す ＋ 人々	● 組み合わせ	9 班の案を見ると、ほとんどが、<農業>＋<人々> 特定の人を表す場合は<～人・～者>を使うが、この場合は<人々>が合う。 ⇒<農業>＋<人々> ※東北・北信越・東海・近畿班の案を採用
61	妥当	実情によくあてはまっていること。適切であること。また、そのさま。 (例:「妥当な方法をとる」 「現実社会に妥当する政策」など) (goo国語辞書より)		北海道 ● 適当を二回 東北 ◎ 「合うまたはピッタリ」 関東 保 両手の人差指の指先をゆっくり 2 回合わせる 北信越 「合う」 東海 △ 開いた両手を重ね合わせる 近畿 ● <適当>を強く表現 中国 △ ピッタリ 四国 △ /合う/ のラベルの追加 九州 ぴったり	△ ラベルの追加	9 班の案を見ると、ほとんどが<合う>と同じ、または<合う>を 2 回表す。状況に合わせて使い分ければ済むことなので<合う>にラベルを追加することに。 ⇒<合う・相当B・ふさわしい・～的・適当・ぴったり・似合う・折り合いがつく・板につく・もってこい・的確>と同じ ※東北・北信越・近畿・中国・四国・九州班の案を採用
62	内閣不信任案	日本国憲法第69条で定められている「内閣不信任決議案」のことを指します。 日本では衆議院にのみ存在する権限で、「議会は内閣を信任しません」「退陣してください」という意思表示をし、それが可決されれば実際に内閣を総辞職させることができます。 議院内閣制をとっている日本にとって、非常に大切な権限です。基本的には野党にいる人が内閣不信任案を出します。 ただ、1人では内閣不信任案を出すことができません。自分の他にも賛成者を50人以上集める必要があります。 ちなみに、衆議院の定数は465人なので、衆議院議員のうち約11%の賛成を集めれば内閣不信任案を出すことができる計算になります。（選挙ドットコムより）	参考:<不信任(2014－9)> <内閣不信任案>… 2012年12月確定するも未発表ですが、この表現が適切かどうか、再検討をお願いいたします。 https://www.newsigns.jp/commrep002	北海道 ● 内閣 ＋ 不信任 ＋ 訴える 東北 ● 「内閣」＋「不信」＋「案」 関東 ● 「内閣」＋ 左手掌を右手人差指側で払う ＋ 「案」 北信越 「内閣」＋「認めない」＋「案」 東海 ● 原案通り 近畿 ◎ <内閣>＋否定する＋<案> 中国 ● 内閣 ＋ 認めない ＋ 届け 四国 ● /内閣/ ＋ /不信/ ＋ /案/ 九州 内閣 ＋ 信頼の表現で閉じた両手を軽く開く ＋ 案	原案のまま 変更なし	9 班の案を見ると、<認めない>の表現もあるが、ほとんどが原案通り。そのまま変更なしとすることに。 (動画はなし)
	【ウボボイ】の手話誕生について	民族共生象徴空間の愛称「ウボボイ」はアイヌ語で「(おおぜいで)歌うこと」を意味する。大自然 白老岳の麓の緑に覆われ、(おおぜいで)歌う集落(施設)。 日本語表記では「ウボボイ」、外国人観光客向けの英語表記では「UPOPOY」、「U」の指文字と「ウ」の指紋字との一致で利用しやすい。		北海道班より 5月29日(日)、北海道ろうあ連盟代議員総会において「ウボボイ」の手話について多数の方から案が出されましたが、採決の結果、承認されましたので紹介します。 「ウボボイ」についての手話解説 表現動作は ①「歌」(おおぜいで)歌う、②「山」白老岳、③「屋根」家、施設 口元に人差指と中指をあて歌う仕草しながら、右2指差しを山の形を表し、合わせて屋根の形にしておろす。		テロップ: 北海道ろうあ連盟の行事にて「ウボボイ」(アイヌ語で「皆で歌う場所」の意)の手話表現について、参加者一同で検討し、決定しました。 最終的に皆の同意を得られたのは『<歌>の表現に続けて「山」(白老岳)の形を示し、続けて施設の屋根を表す』この表現です。 みんなが集って歌をうたうイメージです。